

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Bブロック 1回戦＞

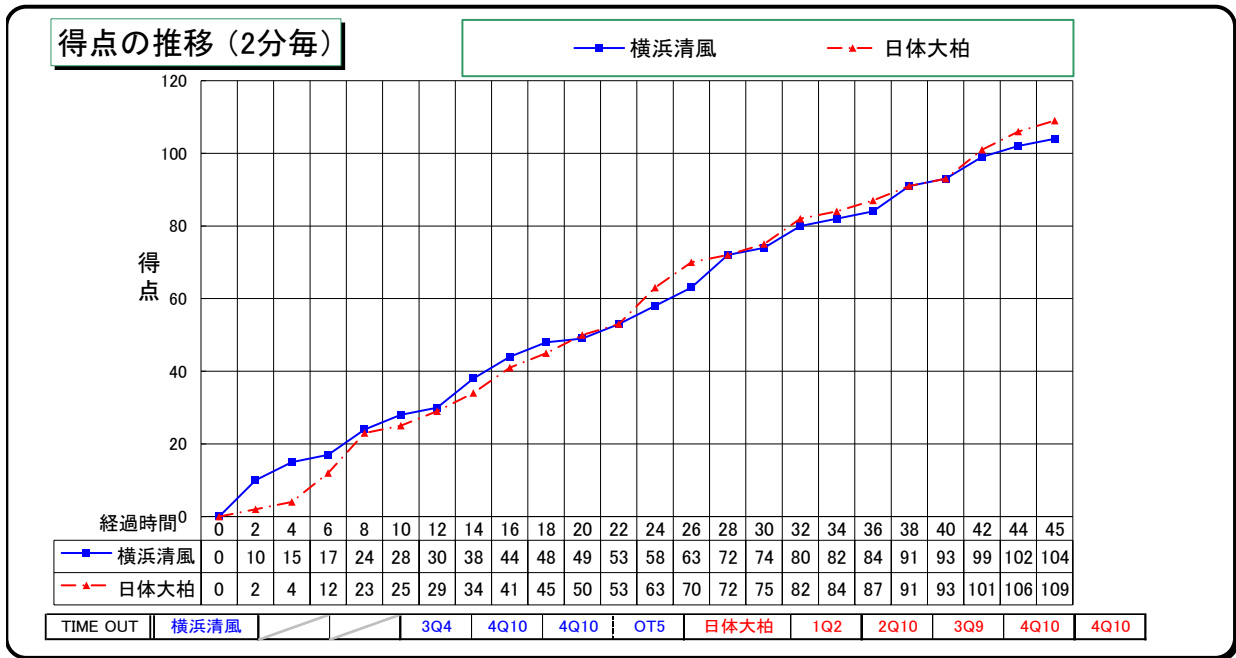
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Cコート	第2試合 10:30～																
<チームA> 横浜清風 神奈川		104 <table border="0"> <tr><td>28</td><td>1Q</td><td>25</td></tr> <tr><td>21</td><td>2Q</td><td>25</td></tr> <tr><td>25</td><td>3Q</td><td>25</td></tr> <tr><td>19</td><td>4Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td>16</td></tr> </table>	28	1Q	25	21	2Q	25	25	3Q	25	19	4Q	18	11		16	<チームB> 日体大柏 千葉		
28	1Q	25																		
21	2Q	25																		
25	3Q	25																		
19	4Q	18																		
11		16																		

主審: 齊藤 貴嗣(東京) 第1副審: 山田 将樹(東京) 第2副審: 笠倉 真一郎(茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	0	梶原 元	3	1	2					2	1		
○	1	佐藤 隼高								1			
○	2	森 勇翔											
◎	5	渡邊 琉	16	1	6	3	13	7	10	3	2	5	4
○	8	齊藤 碧生	6		2	2	6	2	4	1	2	1	
○	9	来田 真希人								1			
	10	久保田 准成											
	12	大島 悠斗											
	15	森岡 優											
	26	荒谷 旺太											
◎	28	長谷川 比源	38	1	1	16	21	3	3	1	12	12	
◎	30	北村 稀	5	1	14	1	2		2	1	2	3	1
	32	木村 陽希											
◎	33	高野 真成	20	1	2	7	10	3	3	3	2	3	
◎	56	日野 恭英	16		5	6	12	4	5	2	2	5	2
		コーチ 三宅 学											
合計			104	5	32	35	64	19	27	15	23	29	7

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	小林 晟也	10			3	12	4	6	3	5	1	
◎	5	鎌田 悠生	34			17	26		2	3	8	5	
○	6	中村 元之輔	10	2	5	1	8	2	4	4	1	8	
◎	7	八嶋 鎧琉	38	8	17	7	24		2	2	3	3	4
◎	8	小澤 佑介	9	1	3	2	5	2	3	4	1	3	1
	9	関原 克											
	10	加瀬 人誠											
○	11	梅溪 翔生											
	12	内田 優碧											
◎	13	伊塚 玲央	8			4	6			5	4	3	1
	14	中沢 隼											
○	15	清原 大輔											
○	16	前田 大和			1					2			
	17	江面 優											
	18	中野 優哉											
		コーチ 野澤 亨											
合計			109	11	26	34	81	8	17	23	22	23	6

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 長沼 和希

令和5年度関東高等学校男子Bブロック1回戦、横浜清風(以下、清風)と日本体育大学柏(以下、日体)の試合。

第1Q、両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。日体はポストプレーなどを絡ませたオフェンスから得点を狙うが決めきれず、清風は落ち着いた正確なオフェンスから得点を量産し、開始2分で10-0に、日体壊らすタイムアウト。タイムアウト明け直後、日体は#5鎌田のポストプレーを軸とした攻めでようやく得点。両者ともにスローテンポなゲーム展開を繰り広げるが、日体#13伊塚の電光石火の速攻で2ポイントを決める。それを皮切りに、両チーム速攻による得点が増え28-25の清風リードで1Qを終える。

第2Q、日体はスクリーンを多用したオフェンスを展開するが、決めきれない時間帯が続く。沈黙が続く中、清風#56日野の鮮やかな3Pによって清風は一気に活気づき、速攻による得点を重ねていく。一方日体は、安定的なパス回しからオフェンスの要#5鎌田に繋ぎ、味方が合わせることで必死に喰らいつき、得点が離れるのを許さず。速攻の清風、組み立ての日体という構図に。清風が2点リードで終えそうな刹那、日体はスローインプレーから前半残り1.5秒で劇的な逆転3Pを決め、49-50の日体リードで折り返し。

第3Q開始2分、日体は1-2-1ゾーンプレスを仕掛けるも清風の落ち着いたボール運びで破られる。それでも日体は果敢にディフェンスリバウンドに絡み、連続で速攻を決める。お互いが一歩も譲らない中、日体#7八嶋が鮮やかな3Pを決め、その後もオールコートマンツーマンでのプレッシャーが功を奏し、日体の速攻の機会が増える。74-75の日体1点リードで最終クォーターへ。

第4Q、両者ほぼ五角のまま運命の最終クォーター。開始直後、お互いのオフェンスのほとんどが得点に絡む展開に。開始2分、びたりと得点が停滞し、代わって激しいディフェンスリバウンドから速攻の打ち合いが繰り広げられる。約2分の硬直を破ったのは、日体#13伊塚の倒れ込みながらのドライブインが決まる。その後は日体が数点リードし、清風が追い続ける時間帯が続く。残り3分半、清風#0梶原によるコーナーからの3Pにより再びイーブンに。お互いの取り合いで、同点のまま残り1分を切る。残り20秒、日体#7八嶋がスティールから速攻で、ファウルを貰うがフリースローは決めきれず、同点のままに。その後清風タイムアウトでフロントコートでのオフェンスを試みるも、24秒オーバータイムで日体タイムアウト。残り6.1秒、日体フロントコートでのスローインから好調の#5鎌田がローポストから押し込み、91-93で清風タイムアウト。残り3.5秒、清風はスローインからこちらも好調の#28長谷川がタップで決めきり再びイーブンに。日体再びタイムアウト。残り3.5秒、日体のオフェンスは清風のナイスディフェンスに阻まれ、劇的な展開で延長戦へ。

延長戦、依然としてお互いのチームが得点を重ね続ける。日体はロングレンジのシュートが好調な#7八嶋の3Pをきっかけに得点を離すかに思われたが、清風#33高野の3Pで再び一差に戻す。ここでお互いのスコアが100点を超える。お互い譲らない展開の中、日体は#8小澤、#4小林の連続得点により残り37秒で6点差に。残り33秒、清風#56日野が3Pのフリースローで1点を追加するも、104-109で日体勝利となった。